

と き 平成20年6月25日(水)
ところ 金子地域福祉センター

平成20年度 市長と語る・ふれあいトークン (第3回)

開会 午後7時3分

司会者(肥田市民部市民相談課長)

皆様、こんばんは。定刻となりましたので、ただいまから平成20年度第3回市長と語るふれあいトークンを始めさせていただきます。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

初めに、まず市長の長友からごあいさつを申し上げます。

長友市長

こんばんは。先週19日、自衛隊に行って不発弾の感謝状を手渡して、これで一通りやっと大きくお世話になったところへのお礼が一巡したかなというような感じであります。その前に6月議会が終わり、これから夏を迎えて、また9月に向けてのいろいろな準備をしていかなきゃいけないと。そういう環境の中で、熱心にお集まりいただきましてありがとうございます。またいろいろ教えていただき、お互いに勉強させていただきながら、即答できないものについてはなるべく早くお答えするということを徹底してまいりたいと思っております。よろしく願いいたします。

司会者

ありがとうございました。

それでは、本日の市からの出席者をご紹介します。お手元の資料にござい

まず出席者一覧のとおりでございます。皆様から向かって左側から、副市長の中根でございます。同じく副市長の河野でございます。行政経営部長・大和田でございます。都市整備部参事・吉原でございます。都市整備部開発調整課長・江田でございます。市民部次長・遠藤でございます。よろしくお願いいたします。

続きまして、始まります前に皆様方に4点ほどちょっとお願いがございます。

まず1点目なのですが、多くの方がお集まりいただいておりますので、なるべく多くの方にご発言をいただきたいと思っております。ご発言につきまして、簡潔にまとめていただければとお願い申し上げます。お一人様3分程度でまとめていただければ助かります。よろしくお願いいたします。

それから2点目といたしまして、速記録を調布市のホームページに公開いたしますことから、ご発言はマイクを通じてよろしくお願いいたします。また、あわせまして、写真をちょっと撮影させていただきますことをご了承ください。

3点目ですが、ご発言の際は町名とお名前をよろしくお願いいたします。ホームページに掲載いたします場合は町名のみとさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

最後4点目でございますが、本日お時間のほうが9時までとなっておりますので、どうぞ皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

申しおくれましたが、私、本日の司会を務めさせていただきます市民相談課の肥田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、お待たせいたしました。ただいまからふれあいトークを始めさせていただきます。それでは、お話をされたい方、挙手をお願いいたします。

では、真ん中の黒いTシャツの女性の方。

(西つつじヶ丘3丁目)

こんばんは。西つつじヶ丘の と申します。

私は、公立の調布市の保育園に子供を通わせている母親です。公立の保育園なので、先生は公務員ということになるかと思うのですが、その先生に対してとてもすごく不信感と疑問を抱いております。まずは先生と直接お話をしたり、園長先生にお話をしたりという形でいろいろ努力をしてみましたが一向に改善されず、公務員だからしょうがないわよという答えで返ってまいりまして、現在に至っております。そういう場合はどのようにすればご指導や調べていただいたりとか、いろいろ改善されるのかなということが伺いたくて来ました。

長友市長

内容を言っていたかないと、ちょっとよくわかりません。

(西つつじヶ丘3丁目)

そうですね。この4月から担任が変わったのですが、来年度小学校に上がる子供たちということで、まずはもう、とにかく軍隊のようにすべてを規律として乱れを許さず、保育園というものは、もうほとんど丸一日子供たちはそこで過ごすものですから、教育ではなく生活なんです。それなので、ちょっと愛情をもって、まずはその子供たちの存在を認めてほしいという旨を申し上げましたら、「この子供たちはだめな子なのよ、3歳児レベル以下なのだから。お母さん、こういう子供たちが小学校へ行って問題を起こすのだから、私が直してあげてるの」という発言をはっきりいただきまして、「愛情は家でやってください、私は教育をしますから」みたいな形ではっきりおっしゃる先生なんです。そして、それを敏感に感じている子供たちは、自分たちはだめな子なのだという形で、今クラスの子供たちがとてもすさんでいまして、いろいろ話を聞きますと、30年間調布市の公立の先生としてやっていられたらしいんですけども、今まででもいろいろ父兄からの苦情等がありながらここまでやってきたらしいんですが、大きく改善はされず、そのまま。私も娘を保育園に上げている身ですので、私がない間どういうあれがあるかというのはちょっと怖いので、最初は声を上げなかったのですが、とにかく否定的な態度で子供たちに接するものですから、子供たちも自分たちを否定すると。園長先生も、とても問題のある先生だ、とても困っているということはおっしゃるのですけれども、それ以上のことが何も無い。ということはどうしたらいいかなと思ってまいりました。

司会者

ありがとうございました。よろしく願いいたします。

長友市長

ありがとうございました。総体的なことと、それから個別のことと、両方簡単にお答えしたいと思いますが、公務員の世界だから改善しない、それはあり得ない。おかしいものは直していかなくちゃいかん。そういうことですね。それから、今、さんも具体的な言い方ができる度合いがあるでしょうから、それは後ほど確認させていただくとして、大体わかりました。おっしゃりたいことは、概括的にはわかりました。保育園、学校、児童館、いろいろな公共施設がありまして、やっぱりいろいろな意味で、熱意の余りかもしれないけど、摩擦が起きるときもあるし、いろいろあります。

それで、私どもは、まず全体的にいうと、公務員の世界だから直らないということはもうはっきり、そんなばかなことはないということを申し上げた上で、後ほど確認させていただいた上で事情聴取いたします。ただ、いろいろな角度からそれぞれの方の主張も聞いてみなきゃいけませんし、同じような保護者の方々、それから保育園の中の先生方のいろいろな話もある。そういうところで、担任の方が子供をいい意味でしつけないかと思っ持っている気持ちはあるのかもしれないけれども、そのやり方だとか、いい方向に向かっているのだろうかということに関しては、やっぱり複数の目の判断で、もし是正が必要であれば、それはやはりそのような話し合いが具体的に改善されるように必要になると思いますから、後ほど、もう少し確認をさせていただいた上で事情を私どものほうからももう一度見直していく、確認していくということをお約束します。

(西つつじヶ丘3丁目)

こういう場合、小学校とかに上がってからいろいろあるかと思うのですが、窓口的にはどういうところに相談したり、訴える場というんですか、そういうものというのは、こういうところに来なきゃだめなんですか。

長友市長

いや、そんなことはありません。どこの課がやっているかわかる、例えば学校であれば教育部という部がありますし、子育てであれば子ども生活部という部がありますから直接的にはそこでも結構ですし、部署がよくわからないなど、ほかの問題でもあるのだったら、まさにこれをやっている市民相談の課がありますから、そこにもってきていただければそこでお話を聞くし、もう少し詳しいことであつたらお連れして、この課ですとご案内できますから、どこか所管がわからなければ市民相談のほうに、市民相談のセクションがありますから、そこに言っていただければ結構です。

(西つつじヶ丘3丁目)

ありがとうございました。

司会者

ありがとうございました。それでは、ご発言なさりたい方、挙手をお願いいたします。では、そちらの白い服の女性の方。

(若葉町3丁目)

こんばんは。皆さんよろしく申し上げます。私、若葉町の と申します。

私、入間川の側に住んでおりまして、2005年9月4日に入間川の洪水の被害を受けた者

ですが、5月21日に市長さんお会いする機会がありまして、水害については最大限のことをしていただけるということで、それを受けましてもう1つ心配なことなのですが、入間川の地震対策なんですね。今、私のところは本村橋というところなのですが、そこから四中の地蔵坂というんですかね、あそこのもうちょっと先まで、H鋼というんですか、本村橋までのH形の鉄骨の薄いピンク色の地震対策的なものがあるんですけど、本村橋から先のところ途中までなのですが、昔のセメントの余り強力じゃないようなものが今なっているんです。平等にといいいますか、地震がいつ来るかわからないので、家が川のそばに全部並んで建っていますので、鉄骨のそういうものをやっていただいて、早急に安心ができるようにやっていただきたいなと思っております。市長さん、よろしく申し上げます。

司会者

ありがとうございました。では、市長、よろしくお願いいたします。

長友市長

ありがとうございました。2005年9月の水害のときは私も夜、夜といっても日付をまたいだ後でしたけれども、現地に伺って、大変な被害だなということを確認いたしました。ちょっと想像し得ないような雨量が短期間にあったということで、大変な被害を受けた方もおられて、その後、市で独自に考えたり東京都と相談したりして、今、あれ以来いろいろな対策を講じるということは一生懸命やっておりますので、具体的な進展をこれからもアナウンスさせていただきたいと思っております。

それから、もう1つの後者のほうに関しては、今、言葉をやりとりするだけではなかなか現実的にわかりませんね。今おっしゃったことはまだ市にはご相談をされてはいなかったのですか。

(若葉町3丁目)

まだしていないのです。初めて。

長友市長

わかりました。それでは、だれかにみに行ってもらいまして、それで現場、実地検分しながら市として話のわかるような人間を差し向けますので、対策をどれくらい至急講じなければいけないのか、それが可能かどうかということを考えるために、後で結構ですけど、住所を確認させていただければ、みに行くということでご相談させていただきます。

司会者

ありがとうございました。それでは、ほかにございませんか。挙手をお願いいたします。

それでは、こちらの白い半袖のシャツの方。

(上石原2丁目)

西調布に住んでおります と申します。

退職しましたので、それまでは家と会社を往復しておって地元のことは余り知らないような状況だったんですが、今は時間がありますので、かなりあちこち歩いております。

1つ気がついたことは、私、こういう会議に初めて出るのですが、今までに持ち上がってきているかもしれませんけども、調布の駅の前はパチンコ、スロットというんですか、パチスロの店が相当数あるんじゃないかと思うんですね。多分10軒以上あるのじゃないかと思うんですけれども、私の感触では、調布というのが今のパチスロのまちで雰囲気的にかなり崩れているんじゃないかという印象を私は受けます。主として、こういう業者というのですか、どういう企業も受け入れるというのが市の方針なのか、あるいは市長を初めとして、そういうことについて何かご感触をおもちなのか、この辺の市の考え方について、ちょっと感触というんですか、これをひとつお聞かせ願いたいということです。

司会者

ありがとうございました。市長、よろしくお願いします。

長友市長

そういうご指摘、ご質問というのは今までにもあります。それから、こういうことはいえるかと思えます。こういう公開の意見交換会の中でも、こういう問題が取り上げられるというのは、そういう施設がふえるということに対しての否定的な意見が多いと思えます。肯定的な意見をおもちの方はそうはおっしゃらない。

それで、2つのことを申し上げます。

1つは、今のご質問の中にもありましたように、やはり規制できるものかどうかということがございまして、これは乱暴な言い方かもしれませんが、パチンコにしてもたばこ、喫煙なんかも同じなんですけども、全くそういうことにご関心をもたない、また一生涯余りかわりのない方にとっては迷惑なだけで、何とかしてほしい、法的にも取り締まってほしいというぐらいの気持ちをおもちだと思います。そうではなくて、やはり息抜きのひとときで、たばこにしてもパチンコにしても愛好しておられる方がいることも事実だと思います。ただ、しかしということで考えると、ちょっと度合いがやっぱり調布の場合は他の駅に比べても多いかなという気はしております。個人的にということと、それから市長としてというのはなかなか使い分けなきゃいけない部分はあるのですけれども、余りこれ以

上、野方図にということをお勧めすべきものでもないなというふうにお考えしております。

ただ、そこから先はなかなかそう簡単ではなくて、それじゃあそれをどうするかということになりますと、完全にそれをシャットアウトするというのを一定の地域を定めてやるのが、これは不可能ではないのです。ただ、今、調布駅の周りに関しては、そこまでのことにはなっておられませんけれども、私どもとしてはやっぱりこれ以上、そんなに駅を四方占領するような形になるということは、市の姿勢としては望まないということで考えていきたいのと、それから、既存の施設に関しましても、地元の方との摩擦を生じないような形の営業をやはり徹底していただきたいということは、これまでも、それから今後とも何か事があれば考えていきたい。それはどういうことかということ、例えば駐輪でありますとか、騒音でありますとか、そういうようなことで、既存の施設に関しても私どもがまちの調和を図る意味でお願いをしていかなければいけない、指導しなければいけないということに関しては、意を砕いていきたいというふうにお考えしております。

(上石原2丁目)

それぞれの趣向とか何かございますから、そういう遊びも含めてゼロにする必要は、私、ないかと思うのですけれども、やはりこの数がもっとももっとふえてくるんじゃないかと。今でもかなり多い状況のところ、またいろいろな業者が入ってくると、今よりもかなりふえるおそれもあるんじゃないかというふうにお考えしているんです。それについて、やっぱり野放しに市としてやるのは、まちの雰囲気とか考えると、私、調布市民として、余りありがたいなということで、何か市のほうでこれ以上ふえない形というのを、規制ができるのかどうか分かりませんが、やはり市民の声も聞いていただいて、何かの形で動いていただければと思います。

長友市長

最初に申し上げましたように、今までにもそういうご指摘がないわけではないので、やっぱりそういうような声というものは1つの大きな意見として考えていきたいとお考えしております。

司会者

ありがとうございました。それでは、次の方どなたか。それでは、一番奥のスカーフを巻いた白いブラウスの女性。

(若葉町3丁目)

こんばんは。若葉町在住で若葉小、四中出身で、都立高校3年のと申します。

先週の市民検討会に母が出席すると聞いて、自分たちのまちがどういうふうにつくられているかというのをちょっと知りたくて参加させていただいたんですが、そこに行ってまず疑問に思ったのが、市民検討会の司会というか進行をなさっている方々が市の方々ではなくて業者の方ということを知って、何で自分たちのまちのことを話し合っているのに業者の方が出てきて市の方とはお話しできないのかなということを知って、それを課長の方にお伺いしたんです市の方とお話しする機会というのは設けてもらえないのかということを知ったら、それはいただければまた別のものとして市の方とお話しするというのはできるといわれたのですが、そうすると、市民検討会でこうやって地域の方が自分たちのまちをよくしたくて頑張っている議論したりとか考えたりとか話をしたりとかしていることが市の方の耳には届いているのかどうかすごく疑問に思って、そこでやっている意味があるのかなというふうに思ったんです。

あと、もう1つ、国分寺崖線の若葉小の裏の森のところに道路が通るというのを聞いて、そこを通学路にして私たちは登校してきて、その緑が地域の子供たちも自分たちも大好きで、その緑を守るといって看板が坂に立ったときには、小さかったんですが、この森はなくなることはないんだねというのを友達と一緒に話しながら登校していた。あそこ緑が多いということに引かれてほかの小学校から、喘息とかそういう環境的には対応できないような病気をもっている子たちが転校してきていることも事実なので、そこをなくしてしまうとそういう子たちの行き場所がなくなってしまうし、私たちはこうやって、中・小学校は地元のところに行って、高校は違うところに行っているんですが、やっぱり自分たちの地元で緑が多いということに対してすごく誇りをもっているし、環境を重視している世の中で、すごく残っているということがうれしいことだなと思って生活しているので、国分寺崖線のところに道路をつくるということを反対したいんですが。

長友市長

1つ目なんですけど、検討会というのはいろいろなものをやっていますけど、何の検討会ですか（「地域別街づくり方針」の声あり）

長友市長

街づくり方針に企業の方が説明したの。

河野副市長

コーディネーターということで、会議を進めるために、1人、司会者みたいなのがいるのですね。それをコーディネートになれている業者がやっているの。

(若葉町3丁目)

地域別街づくり方針市民検討会のほうに参加させて……東部地区のほうに。

長友市長

業者って、どんな人？ コンサルタント会社？

河野副市長

コンサルタント会社です。ああいう会議をうまくやっていくための。

長友市長

ありがとうございました。何の検討会かというのは今わかりました。ただ、臨場感が、私、同席していたわけじゃないので、その司会の方が仕切って、すべてを答えていたわけでもないだろうし、会議を円滑に進めるためになれた方に司会だけお願いしたということなのか、それ以上のものなのかというのはお話ではよくわかりません。だから、今、もっと具体的に答えられる者がいればちょっと補ってもらいます。

それを先にしたほうがいいね。それを先にしないで一般論をいってもしようがないね。

それから2つ目の話に関しては、基本的には本当に開発と自然の調和というのはどこのまちもどう兼ね合いをつくるかというのを苦慮しているというのは間違いはないのですが、やはり調布のよさを考えたときに、1カ所、2カ所とはいいませんけども、例えばということでは、佐須のあたりの里山とか田んぼの残った非常にのどかな環境であり、それから今おっしゃった国分寺崖線をいい形で、崖線だけではなくてその崖線を取り巻く環境をどう残していくのか。それから多摩川、野川の潤いの水辺をと。武蔵野の深大寺の自然林ももちろんありますが、そういう代表的なものの3つ、4つが大幅に失われていくということがもしあったとしたら、調布はもう調布でなくなってしまうということは、皆さんと同じように市全体も全員がそういう気持ちで仕事はしております。そうはいったって道はできるし、建物は建つじゃないかといわれるかもしれない。ただ、やっぱり、さっき私が申し上げましたようなところのよさというものは、ぎりぎりのところまで考えて残していきたい。

それで、国分寺崖線の若葉小のあたりの話に具体的になると、主にことしに入ってからですけれども、道をどうやってつくるのか、つくらないでいけるのか、それも含めているいろいろな意味で調査をまずさせていただくということで、いろいろな方からのご意見を今いただいているところです。定まったもの、こういうふうな計画で完全にこんな道をつくるということが決まっているということは今のところはありません。ただ、その調和をどう

とっていくのか、その1点のあの地域の道づくりだけで申しますと、何人かの熱意ある地元の方がおいでになってちょっとお話をさせていただいたときに、少なくとも最初のお話し合いということで私は2点のことを申し上げました。

それは、1つは、今ここで道をつくらないとは申せません。今ここで、これから考えていこうというそのための調査をかけようという時点ですから、もう道をつくらないでやっていきますということを100%保証することはできませんといいました。もう1つは、そうはいいながらも、ぜひ地元の方のお考えも十分尊重してやっぱりやっていかなきゃいけないから定期的にお話し合いをさせていただきます。これをお約束しますということは申し上げています。そういう中で、これから行政もいろんな方のご意見をいただいて、自分たちでまちづくりの中でその問題をどうやって考えていくかということ、いろいろ意見交換させていただきながら前に進めていきたいと思っております。

もう1ついいましたね。もし道をつくるとしたとしても、でき上がるのは相当後になることは間違いなのですが、ただ、相当後であるから当面の問題でないという立場はとりませんと。やはり、地元の方の意見を集約して最初から考えていくために、ことし、来年というそのとっかかりのところも非常に大事だと思っておりますから、物事を安易に先送りにしてやるというようなことはいたしませんと。そういうことは既にお約束をさせていただいてはおります。

吉原都市整備部参事

都市整備部の吉原と申します。先ほどの市民検討会の件なのですが、進行するに当たりまして、行政側に偏らない、あるいは住民の方の意見をしっかり聞くということで、中立的な立場の進行役の方をお願いしているということでございます。皆様方の意見につきましては、きちんと議事をとって、それで都市整備部のほうでその意見を受けとめまして、次の会議に活かしていくというような形で、しっかりと記録し受けとめているということでご理解いただければと思います。

それから、国分寺崖線の件なのですが、これから環境のほうの影響の調査をやっていく予定になっておりまして、その際に、それを踏まえてまちづくりの計画に活かしていければというふうに考えております。よろしくお願ひいたします。

長友市長

今、ちょっと補足してもらいました。さっきの市民検討会、1つ目のほうは、ですからこういうふうに理解をしていただければと思うのは、外部の方が進行役として司会を手な

れた方がやったということにすぎなくて、私どもが そうではない？（「手なれていないのです」の声あり）。わかりました。手なれていない方に頼んだということで、ただ、その問題を受けとめて答えるのはあくまでも市の責任でやっていたということは理解をいただきたい。それから、今、1つの指摘をいただいたわけですから、なるべく市の職員が司会、進行役というのもやったほうがいいというふうなことを考える、そういう印象をもたれた市民の方が多数いるのであれば、次からそういうふうにもっていったほうがいいかなということは私も考えますから、後でこちらで検討させていただきます。

司会者

ありがとうございました。それでは、ご発言なさりたい方、挙手をお願いいたします。それでは、そちらの眼鏡をかけた男性の方。

（入間町2丁目）

入間町2丁目の でございます。

2点ほどお願いがございますが、私、今、野川の糟嶺橋のたもとに住んでいるのですが、まず1点は、町内がちょっと引っ込んでいるものですから、公道なんですけども、子供が非常に遊び場にして遊ぶんですよ。実は、昨年ぐらいからたくさんの子供が集まるものから、何とか子供が安心して遊べるような場所にしたいと思ひまして、標識、そういうものをお願いしようと思って、いろいろなところに、警察に話をしてみたり、お名前はいえませんが、調布の市会議員さんのほうにお願いしたりとかいろいろやってみたのですが、何人か来られるんだけども一向に話が進まないんですね。そうしているうちにだんだん子供がふえまして、毎日のように10人、20人ぐらいそこで遊ぶんですね。だから、標識のスピード制限とかなんとかそういうものをやってもらうと一番いいのですけれども、これは何回いってもだめなんです。糟嶺橋を渡るときには反対側から速度制限20キロはあるのですが、反対側は何もないんです。だから、いわゆる調布仙川あたりへ行くバス通りから1本引っ込んだほうなのですから、裏道を通る車が非常に多いんです。私、十数年前、12年ぐらい前に1丁目から2丁目に移ったのですが、私が移るちょっと前にやっぱり子供さんが引かれて死んだという話は聞いているんですね。非常に危険なので、何とかこれを市のどなたか窓口の方にみていただいて、何か対応はないものか、ぜひご検討をお願いしたいなというのが1点です。

あと1点は、野川の景観の問題なのですが、これは昨年こういう会がありまして、お願いしたら早速職員の方が来ていただいて、ずっと野川の糟嶺橋の景観をみていただいたん

です。なぜそれをいったかといいますと、何年か前に野川の水が漏れないように底を掘って、泥か何か塗られた後に、糟嶺橋と小足立橋の間にそれまでなかった島みたいのが十何カ所ぐらいできちゃったのです。それはつくるべくしてつくったのじゃなくて、何か知らないけど、いろいろなものがたまっちゃって、ちょっと水がふえると上流のほうからごみが流れてきてそこにたまっちゃうんです。それも何人が来てみていただいたのですが、結果的には1年間に工事何もされていません。だから島が十何個あるのです。例えば、幾つか取っ払ったということもないし、そのままになっているのです。私も今の糟嶺橋から小足立橋の間の100メートルぐらい、遊歩道に面したところ、ボランティアで登録させていただいてずっと手入れしているのですが、やはり景観がだんだん悪くなりまして、非常に残念な思いをしているんですけども、何とかこのあたり、今の2点、ご検討いただけないかなということでございます。

以上です。

司会者

ありがとうございました。市長、よろしくお願いします。

長友市長

1つ目におっしゃった標識等の問題というのは、なぜ前に進まないとお聞きになりましたか？

(入間町2丁目)

それが全然わからないのですよ。警察のほうにもいったのだけど、なかなか動かない。

長友市長

だけど、何らかすぐ手を打てないのはどういう理由だという説明があるのじゃないですか。

(入間町2丁目)

説明がなかったのですね。だけど、これ、何回もやっているのですよ。何回もいろんな人が来られました。よくわからないですけど。

長友市長

警察が所管する部分であったとしても、それではいま一度後で確認をさせていただいて、いつごろどういう行動を起こされたかというのを伺った上で私どもが話をつなげる、またはすぐに手を打てないにしてもどういう理由だということを確認するということはやらせていただきます。ただ一般的に申し上げまして、今の標識なんかもそうですね。それから

横断歩道だ、信号だというのがこういう集会でも時々やっぱり要望が出るのですね。この集会だけじゃなくて出るのですが、大変残念ながら、なかなかすぐにはいかないというケースが多いなと。何回もいわれる部分は、例えば信号機の設置なんかは私も時間をみつけて現場になるべく行くようにしてしまっていて、そうすると、なるほど、やっぱりあったほうがいいなと思うのですが、それで警察に聞いてみたら、調布警察署というのは調布と狛江を統括しているわけですけど、幾つといいましたか、1年に1つか2年に1つぐらいのペースでないとなかなかつかないというようなことで、なかなかそこから先に進まないようなことは残念ながらありました。ただ、今のお話はもう一度具体的に確認させていただいた上で、私どもが何らかのお答えを返せるように努力をさせていただく。

2つ目の景観の問題。これはあれですか、市の職員が既にだれかが現場をみに行ったということですか。

(入間町2丁目)

ええ。昨年すぐいらっしゃいました。数日のうちにいらっしゃいました。何人かでいらっしゃって、ごらんになっていただいたのだけでも、その後、ナシのつづてですね。

長友市長

わかりました。もし今おっしゃるとおりだとすると、ちょっとやっぱり対応に問題があるのかという感じはしますから、これもどの部署の人間がお話を聞かせていただいたかというのは特定できると思います。それはこちらのほうで特定できると思いますから、もしそれで昨年行ってからずっと何のお答えもせずにとということであったんだとすれば、おわびを申し上げなきゃいかんと思っていますが、お答えさせていただくようにいたします。

(入間町2丁目)

ありがとうございました。

司会者

ありがとうございました。

それでは、次の方。では、一番奥の紫のお召し物の女性の方。

(菊野台3丁目)

菊野台の と申します。よろしく申し上げます。

私たちこの3人ですけども、旧大町小学校の体育館のすぐ裏に住んでいまして、体育館と離れている距離が5、6メートルなのです。今まで小学校だったのが今度スポーツ施設になるということで、スポーツ振興課の方とは何度もお話し合いをしましたが、なか

なか私たちの要望は聞いていただけません。私たちが困っているのは、冬はいいのですが、春、夏になりますと、どうしても窓を開けてスポーツをされるんです。多少音楽もかかりますし、みんながキャッキヤ、ワイワイってやりますので、朝の9時から夜の9時までずっと続くときもありますし、土日はいろいろなイベントが入ったりします。それを私たち、5、6メートルの距離で聞かなければいけません。

今まで小学校だったときはプログラムもそんなにありませんので、週に3回ぐらい、1日に1回、2回のプログラムでした。私たちはみんな高齢ですから、みんな病気ももっております。それで、何とか防音措置をしてほしいということはずっと要望しましたけども、それはお金がないからだめ。では冷房をつけてください、夏、あけられたら困るのでとお願いすると、お金がありません。でもシャワーとかいろいろな施設はつくられるそうなのですね。体育館の話になると、お金がありません、できません。最低限、扇風機でもいいですからつけてくださいというと、とりつける場所がないとか、とりつけたら落ちてくるとか、そういう話で扇風機もつけてくれないのです。では対策方法はというと、運営方法をうまくやりますから心配しないでくださいといわれます。でも、夏になるとどうしても暑いですから、そんなところで蒸し風呂のような、サウナじゃないのに閉めてやれば本当にサウナになっちゃって、倒れる人も出てくると思います。

ですから、本当に騒音対策なしでそういうスポーツ施設を住宅街の本当に5、6メートル先につくられたらとても困ってしまいます。スポーツ施設というのは、大抵森の中とか静かなところに大分離れてありますし、また調和小学校ができたときも体育館は完全防音でやっておられますので、そういう公害対策を全くやらずにシャワーとか建物にはお金を使って、あと冷房もつけません、扇風機も置けません、防音もできません、そういうお答えしか返ってこないのですね。そうすると、住民の要望が全く無視されて、騒音は仕方がないです、我慢してくださいということになっております。なので、私たちは本当に困っております。毎日のことですし、土日もそうですから、本当に静かに暮らせなくなってしまうのです。だから、何らか音が外に漏れない対策をとっていただきたいなと思っております。

それから、その体育館の裏に雑草がいっぱい生えてしまうのです。それはどこが管理されているのかわかりませんが、時々刈り込んでください、蚊がいっぱい発生するし、花粉もいっぱい飛び散って、どんどん雑草がふえてきますから、早く刈ってくださいと電話しますけども、なかなかそれも来てくれません。本当にどこにそういう責任があるのか

わからない状況なのです。ですから、そういう点、住民が非常に困っているということをぜひ考えて対策を打ってほしいなと思っております。

それからもう1つは、今、線路の工事がされていますが、何か私はよくわかりませんが、柴崎、つつじヶ丘は工事が無いというふうなうわさを聞いておりますので、どうしてなのかな、踏切でいつも5、6分待たされて大変困っておりますので、その2点をぜひお願いしたいと思っております。

司会者

ありがとうございました。

長友市長

ありがとうございました。雑草は刈りましょう。そういう手配をいたします。ただ、いつもいつも、あれはすぐに伸びるもので、手が限られておりますので、いろんなところで物すごいたくさんのところから引き合いがあって、一生懸命やらせてはいただきますが、時々やっぱりまた少し伸びることはあると思いますが、今、衛生面も含めて非常に気になる程度というのであれば、刈るようにいたしましょう。

それから、体育館の問題。これは体育館の中でいろいろなイベントだとか運動だとか行われる、その音がやっぱり気になると。そういうことですか。

(菊野台2丁目)

5、6メートルしか離れておりませんし、窓をあけてやるわけですから、中の音が全部聞こえるのです。

長友市長

今、市内で一番立派な深大寺の総合体育館にもたしか冷房はなかったと思いますし、なかなか全部の施設に冷房をつけるというようなことはできかねると思います。

ただ、お聞きをされていて、体育館、学校施設と近接したところというのはこのまちにもいっぱいありますから、それでも不当に騒音の音量、それからそういうことが行われる頻度、これが著しくひどいということであれば、やっぱり対策を優先的に立てるということだと思います。今、何をというのはなかなかすぐにはお約束できませんが、そういうことでいま一度考えさせていただきますけれども、今はどうなっているのでしたっけ。工事中で今は使っていないのかな。

(菊野台2丁目)

今ちょうど、至福のときです。

長友市長

ただ、あそこをそれとは関係なく、お聞き及びかもしれませんが、騒音は調べさせていただきますが、全体としては、住民の近隣の方のご要望を聞きたいものをつくりたいと思っておりますので、全体的なことに関してはご理解をぜひいただいた上で、騒音はちょっと比較するようなことを私どもでやってみましょう。著しくひどいということであればやはり。

それから、最後にいわれた線路工事というのは、今、京王線の工事をやっている国領、布田、調布が地下駅になる、それだけけれども、柴崎とつつじヶ丘はどうなるのだと。そういうことですね。踏み切りが立体交差で渡れるようになるのかと。

(菊野台2丁目)

はい。

長友市長

今、具体化した計画にはなっていません。それで、今、ご承知のとおり、柴崎と国領の間からずっと、調布駅を少し越すぐらいまでの間、相模原線も一部含めて3.7キロの区間を連続立体交差にしようということで、ちょうど今週から地下を掘り始めたはずなので、1日10メートルくらいずつ進んでいるのです。電鉄会社は、やはり視野には入れて、新宿に近いほうの部分はすべて、笹塚からどの区間も連続立体交差にするようなことはやっていきたいといわれています。ただ、残念ながら、今、具体化したようなことにはなっておりませんので、まだ少し時間がかかって、踏み切りの解消というところにはならないと思っております。

ただ、我々は電鉄会社に、また場合によっては東京都に、国にということで、地元の要望が強いようなところについてはそういう工事をなるべく早期にやっていただきたいという願いは強く続けていきたいとは思っておりますが、現状はそういうことです。

(菊野台2丁目)

それはやっぱり予算の問題なのではないでしょうか。それとも、何か地主さんが反対しているというわさもあるのですけども。予算がないから国領どまりで、柴崎とつつじヶ丘は相変わらず5分待ちの踏み切りを渡りなさいということになりますでしょうか。

長友市長

地主さんはそのことに関しては余り関係ないのじゃないですか。

(菊野台2丁目)

そうすると予算なのですね。

長友市長

予算といえば予算ですね。

(菊野台2丁目)

それはとても不公平だなと、私、思いますし、本当にあそこを渡るのはとても大変ですから、ぜひ柴崎もつつじヶ丘も。仙川はもうできておりますから、その2駅だけですので、ぜひぜひ何とかしていただきたいです。年をとると階段を行けなくなりますので、何とか上を三輪車とか電動自転車か何かで行かなきゃいけないので、将来的にその2駅も取り残さず、ぜひぜひ工事していただきたいと思います。よろしくをお願いします。

長友市長

あと数年で国領、布田、調布駅、踏み切り18が解消されれば、皆さんの意識も市民全体で高まって、そういう機運が盛り上がってくるということを我々も期待しております。

司会者

ありがとうございました。それでは、次の方。では、オレンジ色のワイシャツの方。

(染地2丁目)

染地の　　といいます。

きょうは職員に関する問題で2つの面から伺いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

まず、相次いで起こっています不正というか不祥事の再発防止策の進捗状況がよくみえないので、その点に関して伺いますと、私もこういう場で管理職のチェック体制の強化が必要じゃないかという提案をしたら、市長さんもそういうお考えのようで、いろんな文書なんかをみると、取り組んでいますという話なんですけど、具体的にいうと、チェック体制強化のときに決済規則ですか、今、課長さんどまりで終わっているのが、既にもう部長さんどまりみたいになっているのかが1点。

それから、こういう大きな問題は、調査委員会を設けて報告書を出されてからもう8ヵ月ぐらいたっています。そうすると、そのあれを市民に理解していただくには、どんな取り組み状況、やっているかというとりまとめが必要じゃないかということを前回5月のふれあいの場でも申し上げていたのですが、結局、どうも、まだとりまとめの結果が出てきていないようです。こういうことが起こって市民の信頼を回復するには、私は絶対に必要だと思うのですね。だから、どの時期になったらそういうものが公表できるか伺いたいと

思います。

それから、市長さんは信頼という意味で6月議会でやられていましたが、人材育成に関連して、職員の意識改革を行って、市民の信頼にこたえる人材を育てていきたい、このように答弁されていたと思うんですが、でも、私、現実に見てまして、例えばこういう生活保護に関する生活福祉課の職員の不祥事についても、接触している課長クラスだってそういう意識はないですよ。あれは一部の人間がやったのだという、市民に申しわけなかったというようなあれが余り強くみられないんです。それが1点。

それから、日常の勤務している場合でびっくりするのですが、スリッパで市民に対応する職員もまだいるんですよ。そうすると、何でこういう規律が保たれないのかなというのが、要は人材育成という意味で関連して申し上げているのですが。

それともう1つは、電話の対応なんかでも、とった場合、みずから先に氏名を名乗るという方が相変わらず少ないんですよ。そうすると、接客の認識というのは低いのだなと。だから、大きな問題もさることながら、まず当たり前のことが、確実にできることから実施したほうがいいんじゃないかと私は思うんですが、そういう意味で市長さんの見解を伺いたいというのが1点目。

2番目は職員の定数の問題です。公開された資料を私がみて調べた結果だと、一般会計と公営企業会計というのですか、2つに分かれているようですけども、トータルで1,313人がことしの4月1日現在の人間ですよ。でも、それ以外に携わっている人間は必ずいるわけですよ。要は補助職というか、いろいろ名称はあるでしょうけれども。そういう1,313人を、議会の答弁によると、22年度に1,290までは削減する目標で努力している。でも、結局、これは給与が中心になると思うのですが、それ以外の報酬だとか賃金で処理されて働いている人間だっているはずですよ。市長さん、どのぐらいいるかご存じですか。要は1,313人以外に、市のこういう行政サービスに携わっている人間で今いったような報酬だとか賃金で支払われて雇われている人間がどのぐらいいるかご存じですか。

長友市長

質問を全部……。

(染地2丁目)

私が調べた結果だと1,060人いるんですよ。

長友市長

1,060人ですよ。